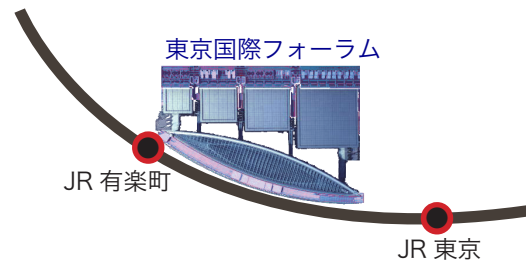


日本構想学会 2025 年度大会

11



<https://jssk.jp>

e-mail: desk@jssk.work

2025 年 12 月 6 日 (土) 9:20 - 20:00
東京国際フォーラム G405

日本構想学会

● 大会参加者へのご案内

- ★ 受付は G405 室の中です。ドアは重いです。
- ★ 開場時刻は 9 時 10 分です。
- ★ 発表者や事前参加申込みをされた方は受付にリストがありますので、お名前を告げてチェックを受けて下記参加費をお支払いください。

正会員・年寄会員 5,000 円 (家族会員は複数名でも 1 名とみなす)
学生会員 2,000 円
非会員 10,000 円
学生非会員 4,000 円 (大学学部生以下)

- ★ 大会会期中、会場受付で名札をお渡しします。これを着座された机の上においてください。
- ★ ラウンドテーブルの着席の優先順は (1) 企画者、話題提供者、(2) 事前申込みをした方、(3) 会場に先着された方の順です。
- ★ 会場には有料のコピー機があります (会場 4 階)。1 階にはコンビニエンスストアがあります。
- ★ 託児室はありません。
- ★ 会場には有料の地下駐車場があります。ただし、学会でスペースの確保はしていません。

9:20 開会	9:30 研究・構想発表 1	11:30 ランチタイム	13:00 ラウンドテーブル 1	14:45 ラウンドテーブル 2	15:00 ラウンドテーブル 2	16:45 研究・構想発表 2	17:00 研究・構想発表 2	18:15 ラウンドテーブル 3	20:00 閉会
------------	-------------------	-----------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	-------------

オープニングご挨拶 ★ 9:20

研究・構想口頭発表 1 ★ 9:30 - 11:30

- 9:30 - 10:00 日本構想学会テーマ研究会 2025-1: 三木清『構想力の論理』の構想を構想するの会：活動報告 北京一（ん倶楽部）
- 10:00 - 10:30 群馬県における外国人移住者が直面するモビリティの障壁 ——自動車免許の取得に注目して—— 後藤亜由水（お茶の水女子大学）
- 10:30 - 11:00 分断社会における対話的自己の再構成を構想する：二項対立の脱構築と多声の主体の生成に向けて 加藤誠也（株式会社ダイナアーツ・インターディベロップメント・代表取締役）
- 11:00 - 11:30 冬の食養生 新倉久美子（東方健美研究所）

ランチタイム 11:30 - 13:00

ラウンドテーブル 1 ★ 13:00 - 14:45

平常心を構想するの会 — 例外状態と日常のあいだ 第 2 回 シュミットからアガンベンへ

2025 年日本構想学会研究会として立ち上げた「平常心を構想するの会 — 例外状態と日常のあいだ」では、9 月および 10 月に第 1 回研究会を開催し、参加者のみなさまから多くの示唆を得ることができました。第 2 回となる今回は、20 世紀初頭のワイマール憲法期にカール・シュミットが提起した政治的「例外状態」の概念をふり返りつつ、ジョルジョ・アガンベンが『ホモ・サケル』で示した、近代国家に構造的に内在する「排除と包含」の視点から「例外状態」を再考します。法は何を包摂し、何を見えない領域に追いやるのか。そして、例外と日常の境界が曖昧になる現代社会において、わたしたちはどのように「平常心」を構想しうるのであるのか。前回の議論を踏まえながら、参加者のみなさんと共に掘り下げていきたいと考えています。

本ラウンドテーブルへの参加にあたり、事前読書は不要です。第 1 回に参加されなかった方も気軽にご参加いただけるよう、冒頭では前回の振り返りを行い、シュミットからアガンベンへと至る「例外状態」概念の変化や転換点をわかりやすく整理してからディスカッションを行います。ご参加のみなさまからの多様な視点・示唆を歓迎いたします。

企画者・話題提供者 猪岡武蔵（日本構想学会理事）・佐伯真一（日本構想学会理事）・北京一（ん倶楽部）

ラウンドテーブル 2 ★ 15:00 - 16:45

多世代まちづくり展開構想「誰も孤立しないお互いさまの関係を地域でどのようにして作るか」

長く停滞している日本の状況を変えるには、多くの人が抱える「老後の不安」を払拭する必要がある。現在の行政制度では縦割りで対処することになっているので、横断的に組み合わせて解決するのは難しい。また支援者と被支援者の枠組みがあるので「お互いさま」の助け合いの関係を構築するのも難しい。

このような状況を鑑み、福祉の制度に頼らず地域で多世代の「お互いさま」の関係を作る「多世代まちづくり」を全国展開していく構想を議論したい。

企画者 佐藤修（CWS コモンズ村村長）

話題提供者 竹形誠司（一般社団法人多世代まちづくり構想代表）

研究・構想口頭発表 2 ★ 17:00 - 18:00

- 17:00 - 17:30 自由の対立について —『清兵衛と瓢箪』を通して考える— 阿部一飛（麻布中学校 1 年生）
- 17:30 - 18:00 コミュニティは安心安全なのか 小島正裕（日本構想学会会員）

ラウンドテーブル 3 ★ 18:15 - 20:00

ドラマ「世界大統領」の企画構成案から考える近未来社会

私は長年映像制作に携わる中で、社会構想を基盤に未来社会のあり方を問う映画やドラマを作りたいと考えてきました。今回は、その企画の一端である、ドラマ「世界大統領」の構成案を提示させていただき、「自分ならこう考える」「面白い／つまらない」など率直なご意見、感想をお聞かせいただければと考えております。本企画では SF を「Science Fiction」にとどまらず、「Societal Design Fiction（社会を設計するフィクション）」として捉えています。皆様との対話を楽しみにしております。

企画者・話題提供者 佐伯真一（日本構想学会理事）・白和次郎（白和梵店）

クロージングご挨拶 ★ 20:00